①外国語（英語）コアカリキュラム対応表（一覧）

外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

大学名	九州ルーテル学院大学
学部・学科等名	人文学部人文学科　児童教育専攻

＜小学校＞

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目（1）	対応授業科目（2）	対応授業科目（3）
2	教科に関する専門的事項	小学校英語		
3	各教科の指導法	小学校英語教育法		

＜中学校＞　　※「教科に関する専門的事項」は、「一般的包括的科目」のみ記載すること。

ページ	各科目に含めることが必要な事項		対応授業科目（1）	対応授業科目（2）	対応授業科目（3）	対応授業科目（4）
	教科に関する専門的事項	英語学				
		英語文学				
		英語コミュニケーション				
		異文化理解				
	各教科の指導法					

＜高等学校＞

ページ	各科目に含めることが必要な事項		対応授業科目（1）	対応授業科目（2）	対応授業科目（3）	対応授業科目（4）
	教科に関する専門的事項	英語学				
		英語文学				
		英語コミュニケーション				
		異文化理解				
	各教科の指導法					

②外国語（英語）コアカリキュラム対応表

外国語に関する専門的事項【1単位程度を想定】

全体目標：小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を身に付ける。

1．授業実践に必要な英語力と知識

1－（1）授業実践に必要な英語力

一般目標：小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力を、授業場面を意識しながら身に付ける。

到達目標：1）授業実践に必要な聞く力を身に付けている。
2）授業実践に必要な話す力［やり取り・発表］を身に付けている。
3）授業実践に必要な読む力を身に付けている。
4）授業実践に必要な書く力を身に付けている。

1－（2）英語に関する背景的な知識

一般目標：小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付ける。

到達目標：1）英語に関する基本的な事柄（音声、語彙、文構造、文法、正書法等）について理解している。
2）第二言語習得に関する基本的な事柄について理解している。
3）児童文学（絵本、子供向けの歌や詩等）について理解している。
4）異文化理解に関する事柄について理解している。

＜外国語（英語）コアカリキュラムチェック表＞

外国語に関する専門的事項		項目	1－（1）				1－（2）			
		到達目標／授業回	1）	2）	3）	4）	1）	2）	3）	4）
授業科目名及び授業回（シラバスのページ番号）	小学校英語 (p.36-37)	1	○	○						○
		2	○	○	○	○		○		
		3					○	○		
		4			○	○	○	○		
		5	○	○	○	○		○	○	
		6	○	○	○	○	○	○		
		7	○				○	○		
		8	○	○				○		
		9	○	○			○	○		
		10	○	○	○	○	○	○		○
		11	○		○			○	○	○
		12						○	○	○
		13	○	○			○			
		14	○	○	○		○			○
		15					○	○		○

◎ ←到達目標に係る授業を**単独の**授業回で行う場合
○ ←到達目標に係る授業を**複数の**授業回にわたって全体的に行う場合

②外国語（英語）コアカリキュラム対応表

外国語の指導法【2単位程度を想定】

全体目標：小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

1. 授業実践に必要な知識・理解

1－（1）小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

一般目標：小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。

到達目標：1）小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。
2）主教材の趣旨、構成、特徴について理解している。
3）小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。
4）様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。

1－（2）子供の第二言語習得についての知識とその活用

一般目標：児童期の第二言語習得の特徴について理解する。

到達目標：1）言語使用を通して言語を習得することを理解し、指導に生かすことができる。
2）音声によるインプットの内容の類推から理解へと進むプロセスを経ることを理解し、指導に生かすことができる。
3）児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方を理解し、指導に生かすことができる。
4）コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。
5）受信から発信、音声から文字へと進むプロセスを理解し、指導に生かすことができる。
6）国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解し、指導に生かすことができる。

2. 授業実践

2－（1）指導技術

一般目標：実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。

到達目標：1）児童の発話につながるよう、効果的に英語で語りかけることができる。
2）児童の英語での発話を引き出し、児童とのやり取りを進めることができる。
3）文字言語との出合わせ方、読む活動・書く活動への導き方について理解し、指導に生かすことができる。

2－（2）授業づくり

一般目標：実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。

到達目標：1）題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定・教材研究ができる。
2）学習到達目標に基づいた指導計画（年間指導計画、単元計画、学習指導案、短時間学習等の授業時間の設定を含めたカリキュラム・マネジメント等）について理解し、学習指導案を立案することができる。
3）ALT等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方について理解している。
4）ICT等の効果的な活用の仕方について理解し、指導に生かすことができる。
5）学習状況の評価（パフォーマンス評価や学習到達目標の活用を含む）について理解している。

＜外国語（英語）コアカリキュラムチェック表＞

外国語の指導法		項目	1－（1）				1－（2）						2－（1）			2－（2）				
		到達目標／授業回	1）	2）	3）	4）	1）	2）	3）	4）	5）	6）	1）	2）	3）	1）	2）	3）	4）	5）
授業科目名及び授業回（シラバスのページ番号）	小学校英語教育法 (p.56)	1	○		○				○			○					○			
		2	○	○	○			○	○	○		○					○			○
		3	○	○	○											○	○	○	○	○
		4					○	○					○	○	○					
		5				○	○													
		6					○	○	○		○			○					○	
		7					○							○		○	○		○	○
		8				○	○							○				○	○	
		9					○							○		○	○		○	○
		10				○	○			○			○	○	○	○		○	○	
		11				○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	○
		12					○	○	○	○	○	○			○					
		13					○			○			○	○	○	○				
		14					○			○			○	○	○	○			○	
		15	○		○				○			○					○			

◎ ←到達目標に係る授業を**単独の**授業回で行う場合
○ ←到達目標に係る授業を**複数の**授業回にわたって全体的に行う場合